



鶴ヶ島市からのお知らせ

1 令和5年度鶴ヶ島市一般会計予算で進める主な事業

- (1) 赤ちゃんの誕生を祝品と応援金でお祝いします…P 1
- (2) 学校再編に向け、いよいよ事業に着手します！…P 2
- (3) 水泳指導の充実へ！民間スポーツクラブでの授業を試行します！…P 5
- (4) シルバーeスポーツ×スマホよろず相談で元気なシニアを増やします！…P 6
- (5) 夜間照明灯の設置で、運動場機能をさらに充実させます！…P 7
- (6) 鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりが進行中です！…P 8
- (7) 市民と一緒に考えた新しい公園の整備が始まります！…P 10

2 市の主な動きとこれからの事業

- (1) ゼロカーボンへの挑戦…P 11
- (2) 圏央鶴ヶ島 I C がフルインター化 アクセス道路も4車線となり、3月25日に開通します！…P 13
- (3) 4年ぶり！！「第39回鶴ヶ島桜まつり」を開催します…P 14

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

赤ちゃんの誕生を祝い品と応援金でお祝いします！
(ふるさと鶴ヶ島誕生お祝い事業)

概 要	<p>新生児の誕生を祝福して出産祝い品を贈呈するとともに、第3子以降の誕生には、祝い品に加えて応援金を支給します。</p> <p>オリジナルの祝い品により鶴ヶ島市に愛着を持ってもらうとともに、応援金により経済面でも子育て世帯を応援していきます。</p>						
詳 細	<p>■ 新生児の誕生を祝福するため、出産祝い品を贈呈します。 また、第3子以降の誕生には、さらに応援金を支給します。</p> <p>【支給内容】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">第1子</td> <td style="text-align: center;">市オリジナル祝い品(5,000円相当)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2子</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3子</td> <td style="text-align: center;">市オリジナル祝い品(5,000円相当) + 応援金 20,000円</td> </tr> </table>	第1子	市オリジナル祝い品(5,000円相当)	第2子	〃	第3子	市オリジナル祝い品(5,000円相当) + 応援金 20,000円
第1子	市オリジナル祝い品(5,000円相当)						
第2子	〃						
第3子	市オリジナル祝い品(5,000円相当) + 応援金 20,000円						
目的や効果	<p>※ 第1子210人、第2子170人、第3子以降70人の誕生を見込む</p> <p>■ 市の重点戦略である「子どもにやさしいまちづくり」の一環として、子どもを産み・育てやすい環境を充実させていきます。</p> <p>■ ふるさと意識の醸成や、子育て世帯の転出の抑制にもつなげていきたいと考えています。</p> <p>■ 事業費の一部には、「未来を担う子どもたちを応援する事業」への活用を希望して寄附された寄附金を充当します。</p>						
事業費	ふるさと鶴ヶ島誕生お祝い事業 407万9千円						
特記事項	このほか、安心して出産・子育てができるよう、切れ目ない相談対応と経済的支援を行う「出産・子育て応援事業」にも取り組んでいます。						
担当部署 連絡先 E-mail	福祉部 こども支援課 子育て支援担当 担当者 千野・里見・清水 049-271-1111(内線 157) 10500040@city.tsurugashima.lg.jp						

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

学校再編に向け、いよいよ事業に着手します！

(① 鶴ヶ島中学校施設改修事業)

概要	<p>鶴ヶ島市では、教育水準の維持・向上と良好な教育環境の整備・充実を図るため、学校再編に取り組みます。</p> <p>このうち、令和9年度に西中学校と再編予定の鶴ヶ島中学校について、再編後の使用を見据えた改修などを行います。</p>
<p>詳細</p> <p>目的や効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鶴ヶ島市で最初の学校再編が、令和9年4月を目標とする鶴ヶ島中学校と西中学校の再編です。 これまでの議論を踏まえ、令和5年度から、学校再編に向けた事業に本格的に着手します。 ■ 再編後の新たな学校として、現在の鶴ヶ島中学校を使用していくことを見据え、「校舎」および「グラウンド」の改修工事を行います。 ①「校舎」の改修工事について(設計) 教育環境の充実と長寿命化対策の一体的な改修工事を行うため、令和5年度から6年度の2か年で設計業務を行います。 ②「グラウンド」の改修工事について(設計) 水はけの悪化や表面の凹凸など、不具合箇所の解消に向けた改修工事を行うため、令和5年度は設計業務を行います。 ■ 内装をはじめ、照明、トイレ、ロッカーや少人数教室など、良好な教育環境を充実させるほか、バリアフリーやゼロカーボンなど、新たな社会的要求にも対応していきます。
事業費	<p>鶴ヶ島中学校施設改修事業 【継続費】 5,446万2千円 (校舎改修分)</p> <p>(5年度 1,633万9千円 / 6年度 3,812万3千円)</p> <p>このほか、令和5年度予算にグラウンド改修経費計上 (385万円)</p>
<p>担当部署</p> <p>連絡先</p> <p>E-mail</p>	<p>教育部 教育総務課 学校施設担当 担当者 長谷川</p> <p>049-271-1111(内線 514)</p> <p>10800010@city.tsurugashima.lg.jp</p>

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

学校再編に向け、いよいよ事業に着手します！
 (② 中学校再編事務費)

<p>概要</p>	<p>鶴ヶ島市では、教育水準の維持・向上と良好な教育環境の整備・充実を図るため、学校再編に取り組みます。</p> <p>このうち、令和9年度に再編予定の鶴ヶ島中学校と西中学校について、会計年度任用職員を任用して具体的な検討・調整を進めます。</p>
<p>詳細 目的や効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鶴ヶ島市で最初の学校再編が、令和9年度4月を目標とする鶴ヶ島中学校と西中学校の再編です。これまでの議論を踏まえ、令和5年度から、学校再編に向けた事業に本格的に着手します。 ■ 学校再編に向けた取組を進めるため、学校を熟知し調整能力に長けた校長経験者を会計年度任用職員として任用し、学校、保護者、地域との調整などを進めていきます。 <p>具体的な調整事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校名に関する事 ・通学路に関する事 ・制服等に関する事 ・設備備品に関する事 ・教育課程および学校行事などに関する事 ・開校記念行事などに関する事 <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校再編により、良好な教育環境の整備・充実を図ります。
<p>事業費</p>	<p>中学校再編事務費 187万2千円</p>
<p>担当部署 連絡先 E-mail</p>	<p>教育部 学校教育課 再編担当 担当者 飯塚 049-271-1111(内線 561) 10800020@city.tsurugashima.lg.jp</p>

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

学校再編に向け、いよいよ事業に着手します！
 (③ 西中学校活用推進事業)

概要	<p>令和9年度に鶴ヶ島中学校と西中学校を再編し、西中学校については、令和10年度に複合施設として再活用していく予定です。</p> <p>この再活用に向けて、市民意見を反映させた基本構想を策定します。</p>
詳細 目的や効果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鶴ヶ島市で最初の学校再編が、令和9年度4月を目標とする鶴ヶ島中学校と西中学校の再編です。これまでの調査検討を踏まえ、令和5年度から、学校再編に向けた事業に本格的に着手します。 ■ 西中学校は、再編後に複合施設として再活用していきます。この再活用に向けて、西中学校に集約する施設機能や利用方法などについて、市民意見を反映させた基本構想の策定業務を令和5年度から6年度までの2か年で行います。 <p style="text-align: center;">令和5年度の取組</p> <p>令和5年度は、昨年度末に策定した鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画にある市民意見を反映させて基本構想の素案を作成します。</p> <p>この素案を基にアンケートやヒアリングなどを実施して、市民意見を伺っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 再編後の西中学校を最大限効果的に活用することで、市民サービスの充実と市民満足度の向上につなげていきます。
事業費	<p>西中学校活用推進事業 【継続費】 342万4千円 (5年度 166万4千円 / 6年度 176万円)</p>
担当部署 連絡先 E-mail	<p>総合政策部 資産管理課 公共施設再編担当 担当者 神宮寺 049-271-1111(内線 423) 10200050@city.tsurugashima.lg.jp</p>

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

水泳指導の充実へ！民間スポーツクラブでの授業を試行します！
(小・中学校水泳指導方法検討事業)

概要	小・中学校の水泳指導について、民間スポーツクラブなどを活用することで、児童・生徒の水泳能力の向上を図ります。
詳細 目的や効果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小・中学校の水泳指導は、6月から7月にかけて実施していますが、梅雨の時期にあたることから、天候不順により計画的な実施が難しくなっています。 ■ 室温・水温が管理され、施設の整った民間のスポーツクラブなどを活用することで、天候の影響を受けずに、計画的な授業の実施が可能になります。 ■ 専門的な知識を持った指導員が指導にあたることで、児童・生徒の水泳能力が高まることが期待されます。 ■ 検討は、令和5年度から6年度の2か年で実施し、民間施設活用の効果を検証していきます。令和5年度は、小学校3校、中学校1校をモデル校として選定し、実施します。
事業費	小・中学校水泳指導方法検討事業 2,374万円
担当部署 連絡先 E-mail	教育部 教育総務課 学校施設担当 担当者 松本 049-271-1111(内線 511) 10800010@city.tsurugashima.lg.jp

令和5年度当初予算で進める主な事業

(05/02/20 定例記者会見資料)

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

シルバーeスポーツ×スマホよろず相談で
元気なシニアを増やします！
(健康長寿推進事業)

<p>概要</p>	<p>高齢者の健康づくりにデジタルを活用することで、デジタルデバイドの解消と認知症予防・社会的つながり・世代間交流の創出を図ります。 また、高齢者の保健事業と介護予防・フレイル対策の一体的な推進などによって、健康寿命の延伸を図ります。</p>						
<p>詳細 目的や効果</p>	<p>■ 市では、令和4年度から、高齢者向けデジタル活用支援として、シルバーeスポーツの普及促進に取り組んでいます。これまで、プロのeスポーツ選手を招いた体験会やeスポーツの継続的な支援を行うとともに、スマホの利用支援も一体的に行い、多くの高齢者が参加しています。また、他市町から複数の視察があるなど、注目度の高い取組となっています。</p> <p>■ 令和5年度は、シルバーeスポーツ・デジタル支援員を養成して市内の各所に派遣するなど、シルバーeスポーツとスマホの利用支援を充実させ、元気な高齢者を増やしていきます。</p> <table border="1" data-bbox="478 1339 1417 1608"> <tr> <td data-bbox="478 1339 612 1447"> <p>養成</p> </td> <td data-bbox="612 1339 995 1447"> <p>プロeスポーツ選手等による講座の開催</p> </td> <td data-bbox="995 1339 1417 1447"> <p>15人の支援員を養成</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="478 1447 612 1608"> <p>派遣</p> </td> <td data-bbox="612 1447 995 1608"> <p>養成した支援員を市内各所に派遣</p> </td> <td data-bbox="995 1447 1417 1608"> <p>各所でeスポーツに触れる機会を設け、さらなる普及とスマホの利用支援を行う</p> </td> </tr> </table> <p>■ ラジオ体操やウォーキングの普及拡大、市民フレイルサポーターによるフレイルチェック測定会の実施など、引き続き健康寿命の延伸にも積極的に取り組みます。</p>	<p>養成</p>	<p>プロeスポーツ選手等による講座の開催</p>	<p>15人の支援員を養成</p>	<p>派遣</p>	<p>養成した支援員を市内各所に派遣</p>	<p>各所でeスポーツに触れる機会を設け、さらなる普及とスマホの利用支援を行う</p>
<p>養成</p>	<p>プロeスポーツ選手等による講座の開催</p>	<p>15人の支援員を養成</p>					
<p>派遣</p>	<p>養成した支援員を市内各所に派遣</p>	<p>各所でeスポーツに触れる機会を設け、さらなる普及とスマホの利用支援を行う</p>					
<p>事業費</p>	<p>健康長寿推進事業 1,844万9千円</p>						
<p>担当部署 連絡先 E-mail</p>	<p>健康部 健康長寿課 高齢者福祉担当 担当者 池田 049-271-1111(内線 209) 10500150@city.tsurugashima.lg.jp</p>						

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

夜間照明灯の設置で、運動場機能をさらに充実させます！
(鶴ヶ島グリーンパーク施設整備事業)

概要	スポーツエリアと自然観察エリアからなる「鶴ヶ島グリーンパーク」に夜間照明灯や管理棟を設置することで、利用者の更なる利便性向上を図ります。
詳細 目的や効果	<p>① <u>夜間照明灯の設置（設計）</u> サッカー場としても利用できる多目的広場に夜間照明灯を設置することで、運動場としての機能をさらに充実させていきます。 運動環境を充実させることで、市民の健康づくりを応援し、市の重点戦略である「いつまでも健康でいられるまちづくり」を実現していきます。</p> <p>② <u>管理棟の設置（設計）</u> 鶴ヶ島グリーンパークの敷地内には、地域住民が積極的に保全活動に参加している「太田ヶ谷の森」が整備されています。 ここに、事務スペースや会議スペース、倉庫などの機能を持たせた管理棟を設置して、日常管理及び利用者の拠点として活用することで、グリーンパークへの愛着を更に高めていきます。</p> <p>■ 鶴ヶ島グリーンパーク(約13ha)や鶴ヶ島市運動公園(約9ha)は、圏央鶴ヶ島インターチェンジ付近に位置し、広大な敷地でスポーツや自然観察を楽しむことができる市民の憩いと交流の場です。 公園機能の充実に加え、インターチェンジのフルインター化や接続するアクセス道路の開通、近接地への企業進出など、今後も鶴ヶ島グリーンパークエリアの更なる充実が期待されています。</p>
事業費	鶴ヶ島グリーンパーク施設整備事業 640万4千円
担当部署 連絡先 E-mail	都市整備部 都市計画課 公園緑地担当 担当者 青木 049-271-1111(内線 258) 10600010@city.tsurugashima.lg.jp

川越新聞記者会の皆さんよろしくお祈いします

事業名

鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりが進行中です！

(①鶴ヶ丘児童公園整備事業)

<p>概要</p>	<p>市と(株)関水金属は、官民連携のまちづくりとして、「鶴ヶ丘児童公園」と「工場敷地内の緑地」の一体的な再整備を行います。 令和4～5年度の2か年で工事を行い、令和6年度に、新しい公園「ガーデンパーク」としてリニューアルオープンします。</p>
<p>詳細 目的や効果</p>	<p>■ (株)関水金属の工場敷地内の緑地と、これに隣接する市の「鶴ヶ丘児童公園」を一体的に再整備し、これまで以上に利用しやすく、地域に開かれた新しい公園としてリニューアルオープンします。</p> <div data-bbox="419 913 1398 1496" style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> <p>◀再整備のイメージ▶</p>  </div> <p>※ 市と(株)関水金属は、令和元年10月9日に包括連携協定を締結しています。</p> <p>■ 鶴ヶ丘児童公園と工場敷地内の緑地の整備は、(株)関水金属が一体的に実施。市は負担金として、設計・工事費用の一部を支払います。 既に公園工事に着手しており、令和6年春頃の利用開始を目指しています。</p>
<p>事業費</p>	<p>鶴ヶ丘児童公園整備事業 4,500万円</p>
<p>担当部署 連絡先 E-mail</p>	<p>都市整備部 都市計画課 公園緑地担当 担当者 青木 049-271-1111(内線 258) 10600010@city.tsurugashima.lg.jp</p>

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりが進行中です！

(②鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業)

概要	市では、本年度から「鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくり」に取り組んでいます。令和6年度からの事業化に向け、構想・整備計画を策定中です。						
詳細 目的や効果	<p>【事業スケジュール】</p> <table border="1" data-bbox="419 696 1410 842"> <thead> <tr> <th data-bbox="419 696 730 741">令和4年度</th> <th data-bbox="730 696 1098 741">令和5年度</th> <th data-bbox="1098 696 1410 741">令和6年度～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="419 741 730 842">まちづくり構想を策定 (目指す将来像を設定)</td> <td data-bbox="730 741 1098 842">整備計画を策定 (具体的な整備内容を決定)</td> <td data-bbox="1098 741 1410 842">事業化 (順次、整備を進める)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業目的】 市では、鶴ヶ島駅周辺地区の<u>生活環境の向上及び地域の活性化</u>を図ることを目的に、「鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり事業」に着手しています。鶴ヶ島駅からガーデンパークまでのエリアを中心としたまちづくりを進め、その効果を市全域に波及させることにより、多様な人々の交流を生み出す<u>魅力ある地域社会</u>をつくり、<u>将来にわたって市の活力を維持</u>することを目指します。</p> <p>【事業背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本地区は、<u>市内でも早い時期に市街化が進展</u>し、古くから本市の活力をけん引してきました。しかし、<u>近年は急速な人口減少・少子高齢化の進行</u>に加え、<u>道路等のインフラの老朽化</u>も進んでいます。 市と<u>㈱関水金属</u>は、官民連携事業として、工場敷地内の緑地と鶴ヶ丘児童公園の一体的な再整備を進めており、<u>令和6年度中にガーデンパークとしてリニューアルオープン</u>することを目指しています。 <p>【事業内容】 ⇒ 別添「まちづくり構想(案)」のP.18～を参照 『歩きたくなる くつろぎ と にぎわい のまち』を目指し、 ①安全で快適な<u>歩行空間の確保</u>、②魅力ある<u>商店街づくり</u>、 ③<u>ガーデンパーク</u>の活用、④新たな<u>交流拠点</u>の整備 を一体的に進めます。</p>	令和4年度	令和5年度	令和6年度～	まちづくり構想を策定 (目指す将来像を設定)	整備計画を策定 (具体的な整備内容を決定)	事業化 (順次、整備を進める)
令和4年度	令和5年度	令和6年度～					
まちづくり構想を策定 (目指す将来像を設定)	整備計画を策定 (具体的な整備内容を決定)	事業化 (順次、整備を進める)					
事業費	鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業 431万2千円 (整備計画の策定に要する経費)						
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 現在、まちづくり構想(案)に対する意見募集を実施中【別添資料参照】 (募集期間:2月1日 から 3月2日 まで) 本事業は、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」と連動した取組です。 (鶴ヶ島版スーパーシティプロジェクト～歩いて行ける市民センターを拠点としたまちづくり～) 						
担当部署 連絡先 E-mail	総合政策部 政策推進課 政策担当 担当者 木下 裕太 049-271-1111(内線 441) 10200010@city.tsurugashima.lg.jp						

令和5年度当初予算で進める主な事業

(05/02/20 定例記者会見資料)

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

市民と一緒に考えた新しい公園の整備が始まります！
(公園整備事業)

<p>概要</p>	<p>土地区画整理事業により移管された公園予定地について、住民参加型のワークショップを開催して意見交換することで、地域住民の声を反映した魅力ある公園整備を推進します。</p>												
<p>詳細 目的や効果</p>	<p>① <u>若葉駅西口1号街区公園（整備工事の実施）</u> 令和4年度に3回のワークショップを開催。延べ38人が参加して市と意見交換し、公園のデザイン案の発表を受けました。 この案を勘案して、令和5年度は公園の整備工事を実施します。</p> <table border="1" data-bbox="485 965 1417 1346"> <tr> <td>場 所</td> <td>鶴ヶ島市藤金848-2（若葉駅から徒歩4分）</td> </tr> <tr> <td>面 積</td> <td>2,533 m²</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>令和5年6月～令和6年3月(予定)</td> </tr> <tr> <td>整 備 概 要</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広場の設置（一部芝生） ・ 遊具の設置（ザイルクライミング、健康遊具） ・ 園路の設置 ・ シンボルツリー </td> </tr> </table> <p>② <u>一本松2号公園予定地（ワークショップの開催）</u> 一本松駅土地区画整理地内の2号公園予定地について、地域住民などを対象に、4月から6月にかけて、3回程度のワークショップを開催する予定です。実施の際には、改めてご案内します。</p> <table border="1" data-bbox="485 1597 1417 1715"> <tr> <td>場 所</td> <td>鶴ヶ島市中新田343（一本松駅から徒歩6分）</td> </tr> <tr> <td>面 積</td> <td>1,808 m²</td> </tr> </table>	場 所	鶴ヶ島市藤金848-2（若葉駅から徒歩4分）	面 積	2,533 m ²	工 期	令和5年6月～令和6年3月(予定)	整 備 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広場の設置（一部芝生） ・ 遊具の設置（ザイルクライミング、健康遊具） ・ 園路の設置 ・ シンボルツリー 	場 所	鶴ヶ島市中新田343（一本松駅から徒歩6分）	面 積	1,808 m ²
場 所	鶴ヶ島市藤金848-2（若葉駅から徒歩4分）												
面 積	2,533 m ²												
工 期	令和5年6月～令和6年3月(予定)												
整 備 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広場の設置（一部芝生） ・ 遊具の設置（ザイルクライミング、健康遊具） ・ 園路の設置 ・ シンボルツリー 												
場 所	鶴ヶ島市中新田343（一本松駅から徒歩6分）												
面 積	1,808 m ²												
<p>事業費</p>	<p>公園整備事業 3,486万円</p>												
<p>担当部署 連絡先 E-mail</p>	<p>都市整備部 都市計画課 公園緑地担当 担当者 高倉 049-271-1111(内線 258) 10600010@city.tsurugashima.lg.jp</p>												

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

タイトル

ゼロカーボンへの挑戦

- ①ゼロカーボンシティ宣言 ②カーボンニュートラルシティ実現に向けた包括連携協定(市、武州ガス株式会社、東京ガス株式会社)の締結
③太陽光PPA事業の共同検証に関する基本合意書の締結を行います。

日時	令和5年3月9日(木)15時00分～15時30分 (鶴ヶ島市役所3階 庁議室)
目的・理由	市ではSDGsのテーマでもある持続可能な社会を目指し、地球温暖化対策や気候変動といった地球規模の環境問題へ積極的に取組むため、市長による「ゼロカーボンシティ宣言」を行います。 また官民一体となった取組により、これらの課題への対応を一步進めるため、地元企業等との包括連携協定及び共同検証の基本合意書を締結するものです。
事業のポイント	<ul style="list-style-type: none">・今年度中に「第3期鶴ヶ島市環境基本計画」の策定を予定しており、今後一層の温室効果ガスの削減に取り組む予定です。・温室効果ガスの削減に向け、官民一体となった取組を推進するため、包括連携協定を締結するとともに、同協定の具体的な取組内容の1番目として「太陽光PPA事業の共同検証に関する基本合意書」の締結を行います。・脱炭素社会構築に向けた民間活力の利用に関する協定の締結は、鶴ヶ島市初のものとなります。・市では、市長によるゼロカーボンシティ宣言、企業との連携協定、環境基本計画の策定を経て、令和5年度より本格的にゼロカーボン事業の推進に取り組んでまいります。
その他 (特筆事項)	取材については、会場の都合もございますので1週間前の令和5年3月2日までに担当部署までご連絡ください。
担当 連絡先 E-mail	市民生活部 生活環境課 環境保全担当 小峰・北沢 電話 049-271-1111 (内線 215) 10400100@city.tsurugashima.lg.jp

「ゼロカーボンへの挑戦」

～鶴ヶ島市 ゼロカーボン推進事業～

鶴ヶ島市は、**市・市民・事業者**が**一体**となった取組を推進し、2050年のゼロカーボンへ挑戦します。

令和5年度は、2050年ゼロカーボンに向けた**キックオフ**の年とし、緑のカーテンを始めとする啓発事業を中心に取組みます。

市の姿勢を内外にアピール

市カーボン関係初
①と②の同時締結は県内初

R
4

環境基本計画の策定 (3/28)
「緑と水と生きものと 持続可能な社会を目指すまち」を目標に、温室効果ガスの削減などを定める。
計画期間：R5～R14

ゼロカーボンシティ宣言 (3/9)
市長が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質0にする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け全力で取り組むことを宣言。

企業との連携協定締結 (3/9)
①カーボンニュートラルシティ実現に向けた包括連携協定
②公共施設太陽光設備等導入に向けた共同検証の基本合意書

グリーン購入指針策定 (3月中)
グリーン購入法に基づき、市の物品の調達に係る指針を策定。

市民・事業者の挑戦！！

市域の温室効果ガスの排出量を2030年までに2013年度比で46%を上回る削減、2050年までに実質0とする。

市の挑戦！！

市役所としての温室効果ガスの排出量を2030年までに2013年度比で50%を上回る削減。

R
5

楽しみながら実践 / **【拡充】環境問題啓発経費**

- 【新】イメージマーク作成
- 【新】推進ステッカーの配布
- 【新】環境講演会・教室など
- ヘチマプロジェクト

1,000人でヘチマを栽培し、緑のカーテン・料理・たわしづくりに取り組む。暑熱対策、節電、マイクプラスチック削減に効果あり。

15,212千円

節電+手軽に再エネ導入 / **【新規】ゼロカーボン推進補助金**

- 再生可能エネルギーの導入と省エネ家電普及のきっかけづくりとして補助制度を創設。
- 対象 **県内初**
- ポータブル蓄電池の購入
- 冷蔵庫・LED照明の買換え

6,000千円

ゴミの減量化・資源化によるゼロカーボンの推進 / **【継続】5R推進経費・補助金**

- 生ごみ処理器キエーロの販売
- 処理困難物の一斉有料回収(市役所、年1回)
- リサイクルサイト「おいくら」、プリンターインクカートリッジ・携帯電話回収の告知
- 環境団体への補助など

934千円

レジリエンス・地域の拠点整備の観点も(埼玉版スーパーシティプロジェクト) / **【新規】ゼロカーボン推進経費**

- 公共施設の太陽光発電設備等の導入について調査。
- 対象
- 17施設(築年数や避難施設等を考慮し選定)

6,800千円

1,000千円(R4)から大幅増

そして、鶴ヶ島市の挑戦は続く...

- グリーン購入指針に基づく物品の調達
- 文書管理システム(電子決裁)導入による紙の削減
- 公共施設への太陽光発電設備等の導入
- 公用車へ電動車の導入
- 公共施設照明のLED化 など

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

タイトル

**圏央鶴ヶ島ICがフルインター化
アクセス道路も4車線となり、3月25日に開通します！**

日時	令和5年3月25日(土) 10時(開通式典) 15時(開通)
目的・理由	企業誘致と地域経済の活性化。 周辺地域の渋滞解消と交通網のネットワークの強化——。 圏央道の整備計画を受けた昭和61年3月の都市計画決定から約37年。地域の発展を願い、インターチェンジとアクセス道路の新設を盛り込んだ平成3年10月の都市計画決定から約31年。 令和5年3月、いよいよ完全な姿で供用開始の日を迎えます。
事業のポイント	○アクセス道路である市道1015号線(都市計画道路 川越鶴ヶ島線)は、市道としては唯一の4車線道路であり初の供用となります。 ○圏央鶴ヶ島IC出入口の道路も同日開通します。(フルインター化。本日、鶴ヶ島市及び東日本高速道路株式会社所沢管理事務所が同時に記者発表します。) ○今回の整備でアクセス性が高まる圏央道東側にはIHI鶴ヶ島工場が立地するほか、埼玉県が進めているSAITAMAロボティクスセンター(仮称)の整備や、新たに大型の企業立地案件が進行中であり、今後、一層の発展が見込まれています。
その他 (特筆事項)	○開通式典(10時~)について テープカット等のセレモニーは、圏央鶴ヶ島ICの料金所付近で実施します。 取材に参加される報道機関におかれましては、3月6日(月)までに下記アドレスへご連絡をお願いします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">タイトル：道路開通式典の参加の件 (記載内容) ①報道機関名、②担当者名、③連絡先(電話番号・E-mail)、④当日の参加予定人数、⑤参加者の車両の台数</div>
担当部署 連絡先 E-mail	都市整備部 道路建設課 道路建設担当 担当者 内田 電話 049-271-1111 (内線267) 10600020@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしくお願いいたします

タイトル

4年ぶり！！「第39回鶴ヶ島桜まつり」を開催します！

日時	令和5年3月18日(土)～4月2日(日) (桜ライトアップ) 令和5年4月1日(土) 出店・イベント
目的・理由	■目的 豊かな活力あるまちづくりを目指し、市民参加の桜まつりを通じて地域住民のコミュニケーションを図ることを目的とします。 ■背景 鶴ヶ島桜まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度を最後に開催を見送ってきました。本年につきましては、市民の皆様からの開催を心待ちにする声や新型コロナウイルス感染症の状況、諸情勢も踏まえて実行委員会で協議した結果、4年ぶりに開催することとなりました。
事業のポイント	○桜ライトアップ 上記の期間中、18時～21時に桜のライトアップを行います。提灯の点灯やライトアップで幻想的な雰囲気をお楽しみいただけます。 ○出店・イベント 上記の日程で市内飲食店や市民団体等による出店、ステージイベントを実施します。出店者やステージ出演者は詳細が決まり次第、お知らせいたします。 ○場所 (ライトアップ、出店・イベントとも) 鶴ヶ島市運動公園 ○見どころ 運動公園内、太田ヶ谷沼の水辺に映える桜の姿は、鶴ヶ島を代表する風景の一つ。凜とした朝、人々が憩う昼下がり、ライトアップで趣が増す宵の口…。太田ヶ谷沼の桜は訪れるたびにさまざまな表情を見せてくれます。 新しい春を探しに。コロナで運動不足気味の体を動かしに。 多くの方のお越しをお待ちしています。
その他 (特筆事項)	新型コロナウイルス感染症の状況により急遽中止となる場合があります。
担当部署 連絡先 E-mail	鶴ヶ島桜まつり実行委員会事務局 (市民生活部 産業振興課 商工労政担当) 担当者 黒田・井沢 電話 049-271-1111 (内線232) 10400110@city.tsurugashima.lg.jp